



新たな年を迎えて

新しい年を迎えました。今年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、大寒を過ぎ1年中で一番寒い時期になりました。コロナウィルスの感染者が爆発的に増えている中での学校生活は、何かと不安も多いと思いますが、こんな時だからこそ、ソーシャルディスタンスは取りつつも、心の距離は近づけていきたいところです。3年生は私立高校の第一回目入試を終え、県立の特色選抜入試が近づいてきました。1・2年生も三者懇談を通して、今後の目標などが見えてきたのではないかと思います。ぜひ、体調管理に注意して、それぞれの目標をもって元気に学校生活を送ってほしいと思います。

今回は、昨年5月に行われました「全国学力・学習状況調査」(3年生対象)、「とちぎっ子学習状況調査」(2年生対象)の宇都宮市や栃木県の結果についてお知らせします。本校の結果につきましては、近日ホームページに掲載する予定です。

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果について【中学校】 (宇都宮市教育委員会・宇都宮市ホームページより)

国語

分類・区分別平均正答率		(%)			
分類	区分	宇都宮市 (a)	栃木県	全国 (b)	差 (a-b)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	80.8	79.5	79.8	1.0
	書くこと	59.8	58.0	57.1	2.7
	読むこと	50.4	48.2	48.5	1.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.0	76.1	75.1	1.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	57.5	56.2	56.0	1.5
	話す・聞く能力	80.8	79.5	79.8	1.0
	書く能力	59.8	58.0	57.1	2.7
	読む能力	50.4	48.2	48.5	1.9
	言語についての知識・理解・技能	77.0	76.1	75.1	1.9

指導の工夫・改善

読むこと

・ 読むことにおける正答率は、1問を除いて全国平均を上回っており、良好な状況が見られる。言語活動を通して国語の知識や技能を身に付けさせる指導が定着し、生徒は習得した知識や技能を活用して、文章中の情報を適切に理解することができていると考えられる。今後、学習過程をより明確に示して教材文への課題意識を高めるとともに、ねらいに沿った学習活動や発問を工夫しながら生徒が考えを形成する過程を重視したり、課題に対する意見の交流を促したりするなど授業の創意工夫により、更なる向上が期待される。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・ 熟語や慣用語の定着を図るには、意味調べだけでなく、類義語や対義語などの関連する語句を調べたり、短文作りや易しい言葉への言い換えをさせたりするなど、課題の出し方の工夫が考えられる。敬語の学習においては、敬語を使い慣れさせる必要があり、ワークシートやミニテストによる反復練習だけでなく、場面を想定した役割演技で、交流し理解を深め合う活動を設定することも有効である。また、これらは、「書くこと」の学習と関連付け、相手意識や目的意識を踏まえ、その語の使用がふさわしいかどうかをよく吟味させる学習活動が効果的である。

数学

分類・区分別平均正答率		(%)			
分類	区分	宇都宮市 (a)	栃木県	全国 (b)	差 (a-b)
学習指導要領の領域	数と式	67.2	64.8	64.9	2.3
	図形	53.6	51.0	51.4	2.2
	関数	57.0	56.7	56.4	0.6
	資料の活用	55.1	54.1	53.8	1.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度				
	数学的な見方や考え方	42.8	41.1	41.1	1.7
	数学的な技能	79.3	77.3	77.7	1.6
	数量や図形などについての知識・理解	67.4	65.8	65.6	1.8

指導の工夫・改善

関数

関数の式やグラフを活用して日常生活の問題解決を図る学習においては、与えられた情報から事象の特徴を的確に捉え、表・図・式・言葉等で数学的に表現する活動を通して問題解決に取り組むことが重要である。その際、表現した内容を伝え合うだけでなく、思考過程を共有するために、「何を求めるために立式したのか、グラフをかいたのか」という目的を明確にし、問題を焦点化したり、解決の方法を見通したりする活動を取り入れることも、筋道を立てて考える力を育むために効果的である。

データの活用(現行学習指導要領対応)

表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、それらを基に判断の理由を説明する力を育成するためには、生徒同士が自分の見いだした特徴を数学的に表現し伝え合う活動に加え、本設問のように、教師が意図的に判断結果とその根拠のモデルを示し、その捉え方に対して批判的に考察する学習活動を設定することが有効である。

レベルアップ学習・土曜学習サポート

2月の「レベルアップ学習・土曜学習サポート」について、お知らせします。1月19日付で参加希望の用紙は各ご家庭に配付させて頂きましたが、平日を含め部活動が全面的に休止となったことをうけまして、1月・2月のレベルアップ学習・土曜学習サポートは中止とさせていただきます。参加希望を提出して下さった生徒の皆さんには大変申し訳ありませんが、ご了承ください。

なお、授業等で分からないところは休み時間などを使ってどんどん先生方に質問してください。また、タブレットを活用して、Qubena(キュービナ)・eboard(イーボード)などでの学習も積極的に行ってください。

令和3年度とちぎっ子学習状況調査の結果（概要）について

（栃木県教育委員会事務局義務教育課・栃木県ホームページより）

○教科に関する調査の結果

学年	教科	設問数	教科総合（県）	基礎・基本	思考・判断・表現
中学校 第2学年	国語	31	71.1	74.4	59.5
	社会	30	59.7	61.9	55.3
	数学	31	60.1	64.5	45.2
	理科	33	53.7	52.8	55.8
	英語	33	57.5	63.2	47.6



○児童生徒質問紙調査の結果（抜粋）

★家庭での生活について

ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」の質問に対して回答した児童生徒の割合

学年	年度	4時間以上	3時間以上 4時間より少ない	2時間以上 3時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	1時間より少ない	全くしない
小学校 第4学年	R3	12.6	10.9	16.0	23.5	22.8	13.7
	R1	10.3	8.5	12.6	22.2	26.9	18.7
	H30	9.9	7.8	12.1	22.2	27.8	19.8
小学校 第5学年	R3	13.3	10.9	18.6	25.3	19.3	12.3
	R1	10.3	9.1	15.0	24.2	24.6	16.5
	H30	9.3	8.1	14.1	23.8	27.4	17.0
中学校 第2学年	R3	12.7	11.9	22.6	23.3	16.9	12.5
	R1	10.5	9.3	19.2	24.5	20.8	15.5
	H30	9.9	9.1	17.8	24.0	22.7	16.5

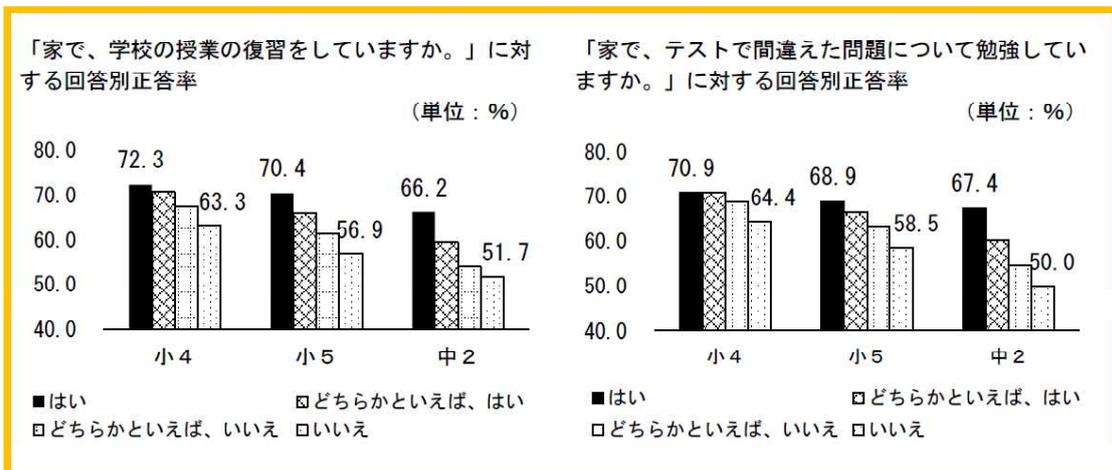
★学習について

学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師も含む）。」の質問に対して回答した児童生徒の割合

学年	年度	3時間以上	2時間以上 3時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	30分以上 1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
小学校 第4学年	R3	6.1	13.4	32.7	34.7	10.2	2.9
	R1	5.9	11.2	30.0	38.1	11.8	2.9
	H30	5.6	12.5	31.3	36.6	11.2	2.7
小学校 第5学年	R3	5.3	14.5	42.3	28.2	7.6	2.1
	R1	5.1	13.5	41.0	30.4	8.0	2.0
	H30	5.2	12.9	41.6	30.6	7.8	1.8
中学校 第2学年	R3	6.7	26.3	40.9	17.2	6.1	2.6
	R1	7.4	26.7	40.4	18.0	5.6	1.8
	H30	6.9	25.7	41.2	18.1	5.7	2.3

※ 主な児童生徒質問紙と教科平均正答率とのクロス集計結果

「家で、学校の授業の復習をしていますか。」「家で、テストで間違えた問題について勉強していますか。」について、教科平均正答率との関連を見ると、どちらの質問項目でも、「はい」と回答する児童生徒の方が、「いいえ」と回答する児童生徒よりも教科平均正答率が高い傾向が見られる。特に、中学2年では、その差は大きく、14ポイント以上の差が見られる。



上の二つの結果ですが、お子様はどの回答に当てはまりますか？家庭でのテレビゲームなどの時間が増えている中、「家庭学習を全くしない」という中学2年生の割合は2.6%もいます。家庭はリラックスできる場所であるのは間違いないでしょうが、時間を上手に使ってメリハリをつけた生活を心掛けてほしいと思います。クロス集計結果を見ても、家庭での学習はとても大切だと分かります。この機会に、家庭での時間の使い方を見直してみるのもよいと思います。